

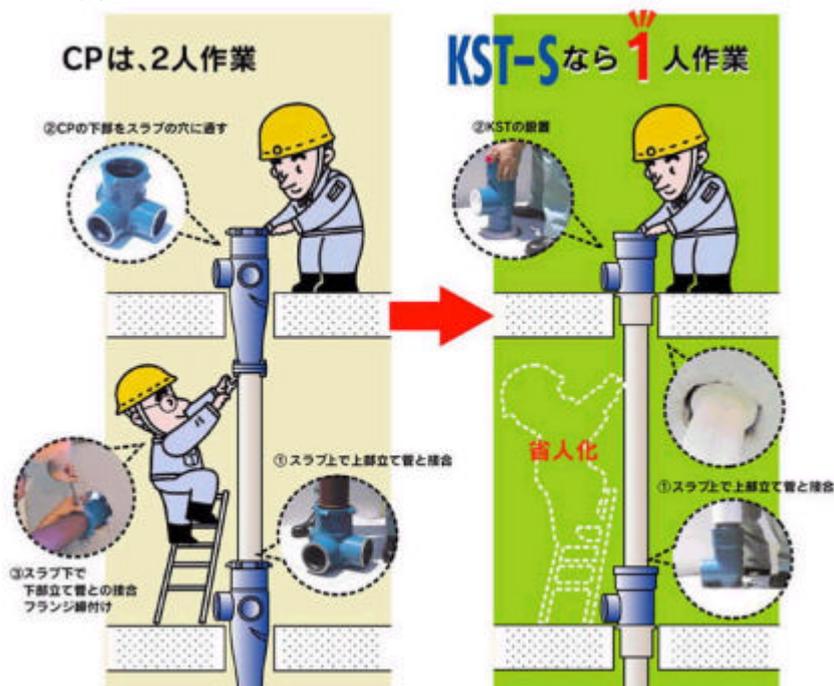
KST-S

1人で施工できます!

”現場作業の省力化とコストダウンを達成する新しい配管方法”、
Kojima の KST-S と受け口付排水立て管との接合は、1人施工が可能であり、大幅な省人化を実現します。

こんなに「らく施工」

- ・排水立て管継手 KST-S は、スラブ上面でワンタッチ接合できます。
- ・受け口付排水立て管の受け口を上階のスラブ貫通孔に、持たせ掛けて直立状態に保持できるので、排水立て管の配管作業を一人の作業者で行うことができます。(脚立に乗った天井作業者はいりません。)



21世紀継手 KSTコンセプト

●スラブ面接合

立て管の受け口にスラブ上面で接合します。

●らく施工

立て管との接合作業がスラブ上で可能。1人作業できます。

●安心施工

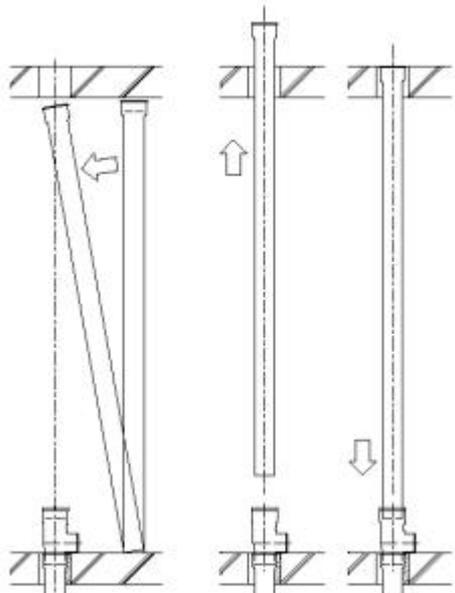
フランジの締め忘れによる漏水の心配はありません。

●低コスト

約12%のコストダウンを実現します。
(当社製品比)



受け口付排水立て管の施工手順



- ・スラブ厚 180mm以下なら受け口付排水立て管を直立にできます。
- ・受け口の最大径が 150 の「JISG5525-2000 差込み形 RJ 管 100」を上図の要領で、開口部をくぐらせるには、最低でも呼び 175 (185) のボイド管で開口する必要があります。
- ・受け口の最大径が 170 の「受け口付耐火二層管 TP-R 100」を上図の要領で、開口部をくぐらせるには、最低でも呼び 200 (210) のボイド管で開口する必要があります。

排水時の振動を低減

- ・KST-S は、継手をスラブに接触させないで配管する新しいコンセプトの継手です。そのため排水流下時にスラブへ伝播する振動は、大幅に小さくなっています。
 - 詳しくはこちら
新コンセプトント KST / 騒音レベル・振動加速度測定データは、こちら

その他関連リンク

- ・CP/KST/JIS 排水能力の比較はこちら
- ・ディスプレイ排水と KST は、こちら
- ・大便器単独系統 / KST の納まりは、こちら